

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告とする。 公告掲載URL https://www.shindengen.co.jp/ir/ （ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。）

【お知らせ】

- 株式に関する住所変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増のお問合せについて
【証券会社等に口座を開設されている株主様】
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
【証券会社等に口座を開設されていない株主様】
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に特別口座が開設されております。
下記フリーダイヤルにお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
0120-232-711（三菱UFJ信託銀行証券代行部）
0120-094-777（三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部） } 通話料無料
インターネットアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 配当金の支払通知書について
租税特別措置法の2008年改正により、お支払する配当金について、配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」をお送りしております。
【配当金を「配当金領収証」、または「口座振込」にてお受取りになられる株主様】
「支払通知書」を兼ねる「配当金計算書」を同封しております。株主様が確定申告をする際の添付資料としてご利用いただけます。
【配当金を株式数比例配分方式にてお受取りになられる株主様】
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 配当金の口座振込のご指定について
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 未受領の配当金について
三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

新電元工業株式会社

〒100-0004
東京都千代田区大手町二丁目2番1号(新大手町ビル)
電話 03-3279-4431(代表)
<https://www.shindengen.co.jp/>



2022年9月1日施行の改正会社法により、株主総会資料*の電子提供制度が開始されました。
当社では、制度導入時より、書面交付請求の有無に関わらず、一律に従前どおり株主総会資料一式を書面でお送りしてまいりましたが、次回（第101回）の株主総会より、ウェブサイト上で提供する株主総会資料の一部を抜粋した書面（サマリー版）をお送りする予定です。
*株主総会参考書類（議案）、事業報告、計算書類、連結計算書類、監査報告

第102期中間報告書 2024年4月1日～2024年9月30日

Business Report 2024.9

証券コード:6844

平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第102期（2025年3月期）の中間報告書をお届けするにあたり、株主の皆様にご挨拶申し上げます。

◇ 当期の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く環境は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善により個人消費が上向き、国内の景気は緩やかに回復している一方、緊迫化する国際情勢、為替相場の急変、国内外の金利動向など、依然として先行きを注視すべき状況が続きました。このようななか当中間連結会計期間の売上高は前年同期比で増収、営業利益は前年同期比で減益となりました。主なセグメントの状況は以下の通りです。

デバイス事業は車載向け製品が堅調に推移しましたが、家電向け製品および産機向け製品は中国における景気低迷の長期化や価格競争の進行などにより厳しい状況が続き、減収となりました。損益面においては、減収影響や生産稼働率の低下に伴う原価率の悪化があったものの販売価格の適正化に努めたことなどにより損失は縮小しました。

電装事業は主力の二輪向け製品がインドで伸長したことやインドネシアで好調を持続したことにより事業全体を牽引し、くわえて四輪向け製品の増加や為替相場が円安に推移したことなどもあり増収となりました。損益面においては増収効果があったものの原材料価格高騰の影響などにより減益となりました。

◇ 今後の見通し

当社グループは、第16次中期経営計画（2025年3月期までの3ヶ年計画）の経営方針である「稼ぐ体質づくり」、「伸長事業拡大の布石」、「温室効果ガス排出量削減分野へのリソース配分」に基づき事業を展開しております。小型・高効率のニーズに応えた各種パワーデバイスの販売を開始したほか、東京電力グループとの協働によりEVの放電機能を活用

した機械式立体駐車場の稼働実証試験を行いV2X製品の開発を進めるなど、環境や社会課題に貢献し企業価値向上に努めるとともに、あらゆるステークホルダーから必要とされ続けるパワーエレクトロニクスカンパニーの実現に向けた諸施策に取り組んでおります。

なお、2025年3月期の連結業績は、売上高106,300百万円、営業利益2,200百万円、経常利益1,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益300百万円を見込んでおります。また、2025年3月期の配当金は1株当たり130円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月



新電元工業株式会社

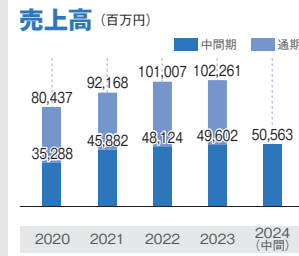
代表取締役社長 田中 信吾

◇ 当期のポイント

- POINT-1** 中国における景気低迷の長期化などによりデバイス事業は減収
- POINT-2** 二輪・四輪向け製品が増加したほか円安効果もあり電装事業は増収
- POINT-3** デバイス事業の構造改革実施に伴い特別損失を計上

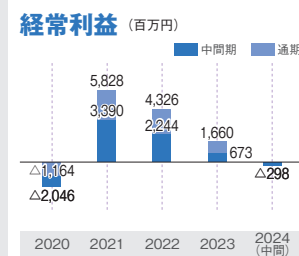
◇ 連結業績の推移

				第100期 (2023年3月期)	第101期 (2024年3月期)	第102期 (2025年3月期)
売上高	(百万円)	中	間	48,124	49,602	50,563
		通	期	101,007	102,261	—
営業利益	(百万円)	中	間	1,479	406	366
		通	期	3,621	1,278	—
経常利益	(百万円)	中	間	2,244	673	△298
		通	期	4,326	1,660	—
親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益	(百万円)	中	間	1,540	△958	△1,089
		通	期	1,644	△712	—
1株当たり中間（当期）純利益	(円)	中	間	149.42	△92.95	△105.63
		通	期	159.56	△69.08	—
総資産	(百万円)	中	間	140,400	147,683	144,186
		通	期	138,092	144,669	—
純資産	(百万円)	中	間	63,085	67,207	67,432
		通	期	62,539	70,917	—
1株当たり純資産	(円)	中	間	6,119.17	6,516.79	6,535.95
		通	期	6,066.34	6,876.60	—



売上高 **50,563百万円** 前年同期比 961百万円増
(前年同期比1.9%増)

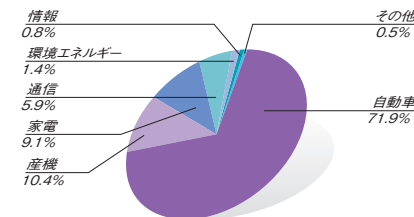
売上高は中国における景気低迷の長期化を主要因としてデバイス事業が減少したものの、二輪・四輪向け製品を中心に電装事業が増加したほか為替相場が円安基調で推移したことなどがあり、前年同期比961百万円増の50,563百万円となりました。



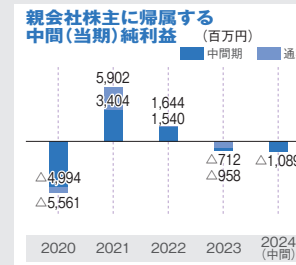
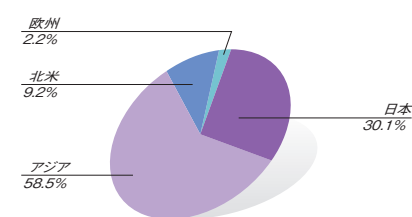
経常損失 **298百万円** (前年同期は673百万円の利益)

経常損失は主に外貨建債権債務の期末為替レートによる評価替えの影響により、298百万円となりました。(前年同期は673百万円の利益)

市場別売上構成比率

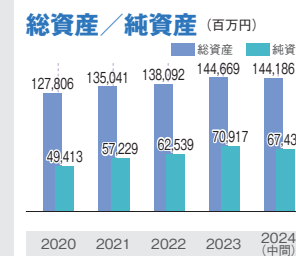


仕向地別売上構成比率



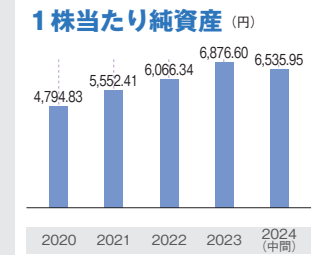
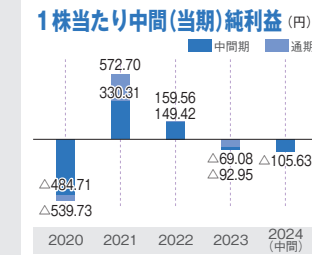
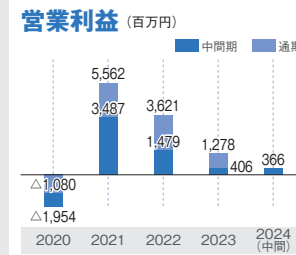
親会社株主に
帰属する
中間純損失 **1,089百万円** (前年同期は958百万円の損失)

親会社株主に帰属する中間純損失は、デバイス事業の構造改革に関連する費用を特別損失として計上したことなどにより、1,089百万円となりました。(前年同期は958百万円の損失)



総資産 **144,186百万円** 前期末比 482百万円減
純資産 **67,432百万円** 前期末比 3,484百万円減

総資産については、主に投資有価証券が減少したことなどにより、前期末に比べて482百万円減の144,186百万円となりました。

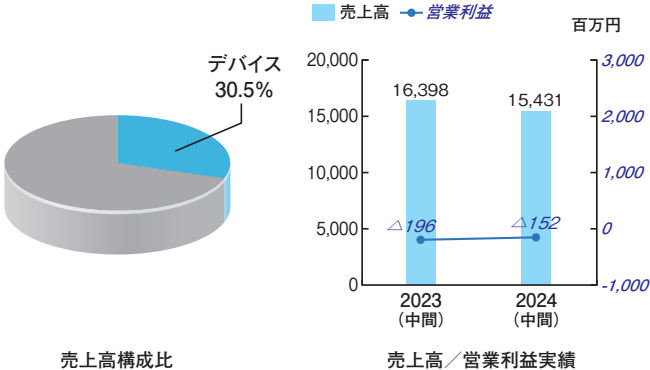


デバイス事業

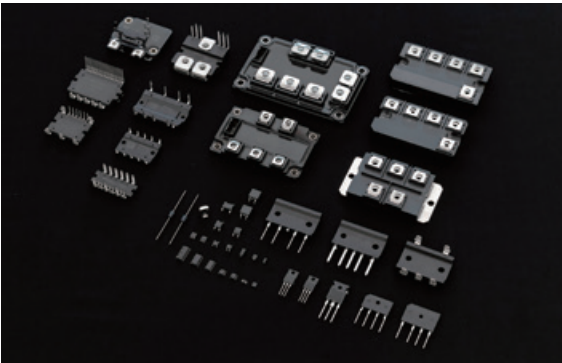
概況（2025年3月期）

デバイス事業の売上高は15,431百万円（前年同期比5.9%減）、営業損失は152百万円（前年同期は196百万円の損失）となりました。

車載向け製品は堅調に推移しましたが、家電向け製品および産機向け製品は中国における景気低迷の長期化や価格競争の進行などにより厳しい状況が続き、減収となりました。損益面においては、減収影響や生産稼働率の低下に伴う原価率の悪化があったものの販売価格の適正化に努めたことなどにより損失は縮小しました。



主要製品



- ダイオード各種
 - ・一般整流ダイオード
 - ・ブリッジダイオード
 - ・高速整流ダイオード
 - ・ツェナーダイオード
- サイリスタ
- SIDAC
- パワー-MOSFET
- パワーIC
- パワーモジュール

主な用途

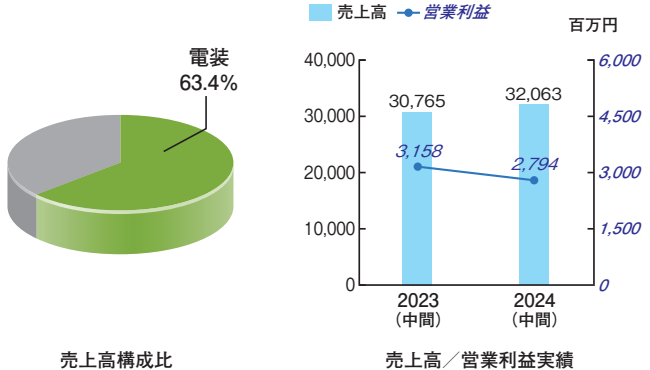
自動車、産業機器
デジタル家電、白物家電
通信機器、OA機器など

電装事業

概況（2025年3月期）

電装事業の売上高は32,063百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は2,794百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

主力の二輪向け製品はインドが伸長したことやインドネシアが好調を持続したことで事業全体を牽引し、くわえて四輪向け製品の増加や為替相場が円安に推移したことなどもあり増収となりました。損益面においては増収効果があったものの原材料価格の高騰の影響などにより減益となりました。



主要製品



- 二輪車用電装品
 - ・レギュレータ／レクチファイア
 - ・CDI
 - ・FIシステム向けECU
- 四輪車用電装品
 - ・DC/DCコンバータ
 - ・ECU
- 汎用製品
 - ・発電機用インバータ

主な用途

二輪車、四輪車、船外機
発電機

◇ その他

その他の売上高は3,068百万円（前年同期比25.8%増）、営業利益は61百万円（前年同期は262百万円の損失）となりました。

◇子ども達と描く、未来への取り組み

当社は地域コミュニティの一員として子ども達と一緒に未来について考え、よりよい社会をつくっていくための取り組みをしています。

当社では、朝霞市在住の小学生児童を対象として夏休み期間に「2024年度 朝霞市こどもイラストコンクール『未来の乗り物』を描こう!」を開催しました。朝霞市からの後援を受けた本コンクールでは「未来の乗り物」を題材として、「どんな乗り物があれば未来の街はより楽しくなるか、人々の生活はより便利になるかを考えよう」というテーマでイラストを募集したところ、多くの個性あふれる作品が当社へ送られ、その応募総数は534作品にまでのぼりました。受賞作品を含むすべての応募作品は以下の特設ページから見るができます。ぜひ子ども達が描く夢いっぱいの乗り物をご覧ください。

当社では、今後も豊かな社会の実現と文化の創造に貢献するため、未来を担う子ども達への教育支援活動に積極的に取り組んでまいります。

2024年度 朝霞市こどもイラストコンクール「未来の乗り物」を描こう!

https://www.shindengen.co.jp/mirai_norimono/award_results/



最優秀賞（低学年の部）「サイクロンクリーンエコカー」
大久保 あかりさん（朝霞市立朝霞第六小学校 3年生）



最優秀賞（高学年の部）「虹の空中エスカレーター」
横山 達興さん（朝霞市立朝霞第八小学校 6年生）

◇会社員×アスリート 二足の草鞋で駆け抜ける

当社陸上競技部には11名が所属しており、フルタイムで働きながら、日々練習に励んでいます。部員は週2回の全体的練習に加え、毎日早朝と終業後にも個人で練習を行っています。時間的にも体力的にも制約がありますが、本人達の強い意志や周りの従業員の協力により、入社後にも自己ベストを更新するなど意欲的に活動しています。

またレースだけでなく、当事業所がある朝霞市への地域貢献活動にも精力的に取り組んでいます。今年8月には朝霞市民まつり「彩夏祭」にて、地域の子供達とリレー対決イベントを開催しました。リレー前に部員が子ども達に走り方のコツをレクチャーし、走る楽しさを伝えました。

こうした陸上競技部の活躍や、ハードな練習をこなしながらも疲れを見せず仕事に集中する姿、スポーツマンシップにあふれた爽やかな言動は社内に活力を与えてくれます。これからも陸上競技部が社内外にポジティブな影響を与えられるよう、応援してまいります。

皆様もご声援のほどよろしくお願いいたします。

2024年 今後の出場予定

- 12月01日(日)
福岡国際マラソン 2024
- 12月08日(日)
第233回 東海大学長距離競技会
- 12月22日(日)
第118回 平成国際大学長距離競技会



「リレー対決! 朝霞キッズVS新電元陸上競技部」

◇新電元工業陸上競技部 公式SNS【X】



新電元工業陸上競技部 公式SNS【X】では選手紹介や日々の練習の様子を公開しています
フォロー・応援をよろしくお願いいたします!

◇持続可能な物流の実現に向けた取り組み

当社は持続可能な物流の実現に向けて、さまざまな取り組みを行っています。

2022年度から、同じ埼玉県に拠点を持つ同業他社と協力し、共同配送サービス「グリーン物流」に取り組んでいます。事業活動では競合同士ですが、「納品先が近い」という共通点があり、輸送効率化のため、1台のトラックに双方の製品を混載して配送先を巡回しています。

また、当社は、2024年5月に国土交通省などが実施した「国際海上コンテナ（20ft）の鉄道輸送による実証試験」に荷主として協力しました。当社は巻線（磁性部品）を自社開発しており、その一部を大黒ふ頭から新潟港までトラックで運送して、その後、新潟港から国外の製造工場へ海上輸送をしています。国土交通省やJR貨物はトラックによる陸送の代替手段として、鉄道輸送と新潟港からの海上輸送を結ぶ運送ルートの構築を検討しており、鉄道輸送と海上輸送を連携するメリットや課題について実際の国際海上コンテナ貨物を用いて検証が行われました。

当社は、国土交通省、経済産業省、農林水産省が推進する「ホワイト物流」推進運動に賛同し、2024年10月に「自主行動宣言」を国土交通省に提出しました。「ホワイト物流」推進運動は、物流の安定確保と労働環境の改善を目指し、国土交通省が主体となって推進している運動です。

今後も、当社は環境負荷の低減と持続可能な成長を目指し、カーボンニュートラルの推進とサプライチェーンの構築に取り組んでまいります。



共同配送サービス「グリーン物流」



国際海上コンテナ（20ft）の鉄道輸送による実証試験

◇会社概要

商号 新電元工業株式会社
本社所在地 東京都千代田区大手町二丁目2番1号
同所は登記上の本店所在地で実際の業務は朝霞事業所で行っております。
朝霞事業所 埼玉県朝霞市幸町三丁目14番1号
設立年月日 1949年8月16日
資本金 17,823百万円
従業員数 連結：5,255名 単体：1,065名
主要事業所 朝霞事業所・大阪支店・名古屋支店

◇取締役および監査役

代表取締役社長	田中 信吉	取締役 北代	八重子
取締役	堀口 健治	常勤監査役	森田 俊英
取締役	受川 修	監査役	二瓶 晴郷
取締役	佐々木 正博	監査役	辻 さちえ
取締役	西山 佳宏		

(注1) 取締役西山佳宏および北代八重子の両氏は、社外取締役であります。
(注2) 監査役二瓶晴郷および辻さちえの両氏は、社外監査役であります。

◇執行役員

専務執行役員	堀口 健治	執行役員	大西 高弘
常務執行役員	受川 修	執行役員	横井 義治
常務執行役員	佐々木 正博	執行役員	松尾 博文
上席執行役員	児玉 光司	執行役員	千葉 昌治
上席執行役員	西 智昭	執行役員	羽鳥 敏
執行役員	古川 直之	執行役員	松本 義明
執行役員	小島 卓也		

◇グループ企業一覧

国内	海外	
株式会社秋田新電元	Lumshun Shindengen Co., Ltd.	新電元（上海）電器有限公司
株式会社東根新電元	Shindengen Philippines Corp.	Shindengen America, Inc.
株式会社岡部新電元	PT.Shindengen Indonesia	新電元（香港）有限公司
新電元スリーイー株式会社	Shindengen India Pvt. Ltd.	Shindengen UK Ltd.
新電元熊本テクノロジー株式会社	Shindengen Vietnam Co., Ltd.	Shindengen Singapore PTE Ltd.
新電元エンタープライズ株式会社	広州新電元電器有限公司	
株式会社ヘルメスシステムズ	Shindengen (Thailand) Co., Ltd.	
新電元メカトロニクス株式会社		

本書における、将来の見通しに関する記載につきましては、現時点で得られた情報に基づいており、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があることにご注意ください。

◇株式の状況

発行可能株式総数 31,000,000株
発行済株式総数 10,338,884株
株主数 11,106名
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
本田技研工業株式会社	1,336千株	12.95%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	881	8.55
中央日本土地建物株式会社	502	4.87
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	356	3.46
朝日生命保険相互会社	325	3.15
新電元工業協力会社持株会	294	2.86
新電元工業従業員持株会	225	2.19
損害保険ジャパン株式会社	200	1.94
株式会社埼玉りそな銀行	185	1.80
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	179	1.74

(注) 出資比率は自己株式（普通株式21,769株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

